

トピックス

■【大阪国際空港(伊丹空港)】2020年の全面改修に先駆け先行オープン！

大阪国際空港(伊丹空港)の改修工事を進めている運営会社の関西エアポートは**2018年4月18日(水)、ターミナル中央エリアを先行リニューアルオープンした。**

今回オープンした中央商業エリアには、34店舗が入り、このうち30店舗が新規出店で、物販と飲食2店舗ずつ計4店舗をリニューアルした。出発口と到着口がある2階には、**関西初のキットカット専門店「キットカット ショコラトリー」をオープン。**3階には、**世界で初めて空港内にワイン醸造所を併設するワインバル「大阪エアポートワイナリー」がオープン。**

同空港のターミナルは、大阪万博開幕を控えた1969年に開業し、全面リニューアルは約50年ぶり。これまで1階南北に分かれていた到着口[南側が全日本空輸(ANA/NH)、北側が日本航空(JAL/JL、9201)]を2階中央1カ所に集約。

ターミナルとモノレール駅間には立体連絡通路を新設し、保安検査場と直結。**モノレールやリムジンバス、タクシーに到着口から100メートル以内で乗り継げるよう改修し、利便性を向上させた。**

2020年には出発到着ゲート内の商業施設が今の4倍以上に拡大される予定。



▲到着口を2階中央1カ所に集約



▲大阪エアポートワイナリーの様子

■【大阪・梅田】阪神百貨店 6月に一部店舗開店

エイチ・ツー・オーリテイリングは2018年4月9日(月)、2021年秋のグランドオープンを前に阪神百貨店梅田本店(大阪市北区)の第1期棟が6月1日(金)に先行開業すると発表した。規模としては地下1階から地上9階で売場面積は2万7000平方メートル。地下1階・地上1階フロアはすべて食品売り場となっていて、**営業をやめていた人気のフードコート『スナックパーク』が3年ぶりに地下1階の食品売り場に復活する。**

同店の小森栄司本店長は「豪華な感じの阪急に対して、阪神は『食』を中心に、より日常の生活に特化したデパートとして顧客に使い分けたい」と話している。

上層のオフィスビル部分が開業する**2022年春には、同店が入るビルの名称を「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」、阪急百貨店梅田本店が入るビルを「大阪梅田ツインタワーズ・ノース」と変更し、グループの一体感を強調。**一方で高級ブランドを多く取り揃える阪急百貨店とは対照的に日用品を充実させ異なる店舗戦略をとる。



▲阪神梅田本店 第1期棟

■【阪神・甲子園駅】イオン甲子園からCorowa(コロワ)甲子園へ

2018年4月26日(木)、三菱地所株式会社と三菱地所リテールマネジメント株式会社は「旧イオン甲子園」の地下2階から地上3階のフロアをリニューアルし「Corowa甲子園」をグランドオープンする。『駅前快適』をコンセプトにし、周辺地域の方や甲子園球場に来る方が気軽に、そして便利に活用できる施設を目指す。

同施設は1993年に「プランタン甲子園」としてオープン以来、ダイエー甲子園店(1995年～)、イオン甲子園店(2016年～)と、名称及び運営会社を変えてきた。

グランドオープン当日には「オープニングセレモニー」をはじめ、オープン記念イベントとして最新デジタル家電など生活を彩る素敵な商品が当たる抽選イベントや、今年の夏に100回目を迎える全国高等学校野球選手権大会開催を記念した報道写真展、福袋販売やサインボールのプレゼント等を実施する予定。



▲Corowa外観イメージ

■【京都】サントリー京都ビール工場リニューアル

「サントリー〈天然水のビール工場〉京都ブルワリー」(京都府長岡京市)は、見学施設の一部をリニューアルし、**2018年4月5日(木)から工場見学を再開した。**今回は新たな内装として、見学施設の一部に紺と金の「ザ・プレミアム・モルツ」のブランドカラーをあしらひ、また、醸造家の情熱とこだわりを体感できる空間にリニューアル。試飲会場の一部では、同工場が立地する古都・京都ならではの風情を感じられる空間を演出。

ガイドが解説する見学ツアーは工場休業日を除き、毎日午前10時～午後3時に実施しており、料金は無料。

また、同工場で醸造された「ザ・プレミアムモルツ 中瓶 京都ラベル」が2018年4月17日から京都限定で発売。**通年販売の瓶ビールとしては初めて地域限定の京都ラベルを作成。**京都を訪れる国内外の観光客にPRしブランドを広く波及する。

⇒京都限定ラベル



▲京都ビール工場 エントランスエリア



※通年販売